

3 まちづくりの目標と将来構造

3-1 まちづくりの目標と将来の姿

(1) まちの性格

文京区は、江戸時代からの歴史や文化的資源が数多く残り、昔の面影を残すまちの中にそれらが溶け込み、落ち着いた環境を形成しています。

一方で、文京区は東京の都心に近接するとともに、新宿や上野、池袋などの副都心に囲まれて位置し、地下鉄網も整備され利便性の高いまちとなっています。また、変化に富んだ地形や豊かな緑があり、多くの大学の集積や医療機関の立地など、都市型居住や都市型産業*を支える文京区ならではの魅力を育んできました。

この都市型居住を構成する住居系の用途地域*は、区の面積の約6割を占めています。また、就業の場は、文京区の南部を中心に業務機能が集積しており、就業者数に対する従業者数の割合である就従率でみると、文京区は約2.1倍（※1）であり、東京23区平均の約1.7倍よりも高く、文京区は吸引力のある就業の場と言えます。

以上のことから、文京区は、『都心に近接する都市型居住と就業の複合空間』と捉えることができます。

(2) まちづくりの目標

文京区のまちの性格を踏まえると、住む人や働く人のために、安全で快適なまちである必要があります。また、文京区のまちが区民をはじめ多くの人々から愛され、親しまれるためには、文京区ならではのまちの魅力をこれからも持ち続けるとともに、新しい魅力の創出を図っていくことが重要です。さらに、社会経済情勢の変化に伴い、まちもその影響を大きく受ける状況の中で、いろいろな課題を解決していかなければなりません。

これらのことから、様々な人々が知恵を出し協力し合いながら、共通の目標に向かって、まちづくりに取り組んでいくことが重要です。

このため、「まちづくりの目標」を次のように設定します。

まちづくりの目標

～協働で次世代に引き継ぐ～
安全で快適な魅力あふれるまちづくり

※1：平成17年の国勢調査によると、文京区の就業者数（区内に住む就業者数）は93,794人で、従業者数（区内で働く就業者数）は193,874人であり、就従率（就業者数に対する従業者数の割合）は、約2.1倍となっています。なお東京23区全体では、就業者数は4,011,554人で、従業者数は6,693,665人であり、約1.7倍となっています。

(3) 将来の姿

「まちづくりの目標」の実現に向けて、文京区が目指すまちの「将来の姿」を以下の通り設定します。

①文京区らしい個性が活かされたまち

- 文京区のイメージを象徴する庭園や寺社、大学など魅力となる資源が活かされた、歴史と文化の香り高いまち
- 文京区の特徴である豊かな緑に囲まれた、環境に優れたまち
- 起伏に富んだ地形が誘起する風景や、境界ごとに展開する個性ある風景と、緑が美しく調和した、優れた景観のあるまち

②安心して暮らせる安全なまち

- まちの中にバリアがなく、誰もが安心して生き生きと住み続けられるまち
- 風情あるまち並みと防災性が両立した安全なまち

③快適で活力のあるまち

- 住む場所と働く場所と学ぶ場所が調和し、誰にとっても快適なまち
- 地域拠点や生活拠点を中心に憩い、賑わい、多くの人々が訪れ、交流が広がる活力あるまち

④区民等と区が協働する心が通う豊かなまち

- 区民等が自分たちのまちをより良いものにしていこうという積極的な意識をもち、区民等と区が協働するまち
- 文京区に関わるすべての人が、地域社会を構成する一員として互いに支え合う、心が通う豊かなまち

